

授業科目	* 助産診断・ケア学VI(健康教育演習)				単位	2		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	M I21206J		
開講年次	1年	開講時期	通年	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	古賀 玉緒、山田 恵、前田 幸							
授業概要	助産診断とケアのためのフィジカルアセスメント及び対象と家族を身体・心理・社会的側面から総合的に理解し、必要な健康教育が実践できるよう知識・技術・態度を解説する。演習を通して、教育および相談活動に必要な技術と態度の習得をはかる。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. マタニティサイクル各期(妊娠・産褥期)の対象に応じた健康教育の企画・運営ができる。 2. 思春期の保健活動を経験し、対象に応じた健康教育の企画・運営ができる。 3. 女性のライフサイクル各期に応じた受胎調節の方法を説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	45	35	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			15				15	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			5				5	
思考・判断 (DP2-2)			5				5	
関心・意欲 (DP3-1)						20	20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)				10			10	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			20	25			45	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1～3 の全てを達成したうえで、実際の場面に沿った保健指導に応用することができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. マタニティサイクル各期(妊娠・産褥期)の対象に応じた健康教育の企画・運営ができる。 2. 思春期の保健活動を経験し、対象に応じた健康教育の企画・運営ができる。 3. 女性のライフサイクル各期に応じた受胎調節の方法を説明できる。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:健康教育計画の概要と目的 マタニティサイクルにおける健康教育について解説する。(古賀玉緒)	講義	復習:該当部分の復習	30
2	テーマ:企画書・指導案の作成方法 企画書とはなにか、また、作成方法について解説する。 企画した内容にもとづいた保健指導案の作成方法、実施および評価(評価表)について説明する。 (古賀玉緒)	講義	復習:該当部分の復習	30
3	テーマ:妊娠期の保健指導 妊娠期保健指導案作成1(4項目) (1)妊娠経過と妊娠中の過ごし方・マイナートラブル (2)妊娠中の異常予防と早期発見 (3) 妊娠期の栄養・運動・休息 (4)分娩 経過と分娩中の過ごし方 各指導項目 の指導内容や方法を概説する。 (前田幸 他)	講義・演習	復習:テーマ・対象者にあった 企画書・指導案を考える。	60
4	テーマ:妊娠期保健指導案作成 2 企画書を作成する。 (前 田幸 山田恵他)	演習(個人W)	予習・復習:テーマ・対象者にあ った企画書を考える。	60
5	テーマ:妊娠期保健指導案作成 3 指導案を作成する。 (前 田幸 山田恵 他)	演習(個人W)	予習・復習:テーマ・対象者にあ った指導案を考える。	60
6	テーマ:妊娠期保健指導案作成 4 担当教員の助言を活かし、指導案の修正を行う。 (前田幸 山田恵 他)	演習(個人W)	予習・復習:テーマ・対象者にあ った指導案を考える。	60
7	テーマ:妊娠期保健指導プレゼンテーション1(企画 書・指導案) (1)妊娠経過と妊娠中の過ごし方について発表する。 (前田幸 山田恵 他)	演習	予習:プレゼンテーションの準 備をする。 復習:発表で得られた助言を 通り返し修正する。	60
8	テーマ:妊娠期保健指導プレゼンテーション2(企画 書・指導案) (2)分 娩経過と分娩中の過ごし方について発表する。 (前田幸 山田恵 他)	演習	予習:プレゼンテーションの準 備をする。 復習:発表で得られた助言を 通り返し修正する。	60
9	テーマ:産褥期保健指導案作成1 <退院後の母児の生活に関する指導>(母児の保健 指導) 各指導項目の指導内容や方法について概説する。 (古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習(個人W)	予習・復習:テーマ・対象者にあ った指導案を考える。	60
10	テーマ:産褥期保健指導案作成2 指 導案の内容を検討する。 (古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習(個人W)	予習・復習:テーマ・対象者にあ った指導案を考える。	60
11	テーマ:産褥期保健指導案作成3 進 行10に引き続き、指導案の内容を検討する。 (古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習(個人W)	予習・復習:テーマ・対象者にあ った指導案を考える。	60
12	テーマ:産褥期保健指導案作成4 指 導案を作成する。 (古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習(個人W)	復習:テーマ・対象者にあ った指導案を考える。	60

13	テーマ:産褥期保健指導案作成5 指導案・パンフレットを作成する。 (古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習(個人W)	復習:テーマ・対象者にあった 指導案パンフレットを考える。	60
14	テーマ:産褥期保健指導案作成6 担当教員の助言を受け、指導案を修正する。 (古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習(個人W)	復習:テーマ・対象者にあった 指導案・パンフレットを考え る。	60
15	テーマ:産褥期保健指導案作成7 指導案・パンフレットの作成および指導の練習を行う。 (古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習(個人GW)	復習:テーマ・対象者にあった 指導案・パンフレットを考え る。	60
16	テーマ:産褥期保健指導プレゼンテーション1 「退 院後の母児の生活に関する指導」について発表する。 (古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習	予習:プレゼンテーションの準 備をする。復習:発表で得られ た助言を取り入れ修正する。	60
17	テーマ:産褥期保健指導プレゼンテーション2 「退院後の母児の生活に関する指導」について発表す る。 (古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習	予習:プレゼンテーションの準 備をする。復習:発表で得られ た助言を取り入れ修正する。	60
18	テーマ:子育て支援者と社会の連携(シニアサマーカ レッジ準備) 子育て支援者の保健指導及び企画(シニアサマーカ レッジ演習)を学ぶ。 (田中満由美 古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習	予習:プレゼンテーションの準 備をする。	60
19	テーマ:子育て支援者と社会の連携(シニアサマーカ レッジ参加) 子育て支援者の保健指導技術(シニアサマーカレッジ 演習)を学ぶ。 (田中満由美 古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習	予習:プレゼンテーションの準 備をする。	60
20	テーマ:思春期の健康支援 集団指導の方法を学ぶ ・DVとは ・デートDVの概要 (外部 講師)	講義	予習・復習:該当部分の学習 を進める。	60
21	テーマ:思春期の健康支援 集団指導の方法を学ぶ。 ・デートDVの現状と予防 (外部講師)	講義・演習	予習・復習:該当部分の学習 を進める。	60
22	テーマ:思春期の健康支援 教育指導案を作成する。 (古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習	予習・復習:テーマ・対象者に あった企画書・指導案を考え る。 プレゼンテーションの準備をす る。	60
23	テーマ:思春期の健康支援 教育指導案を作成する。 (古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習	予習・復習:テーマ・対象者に あった企画書・指導案を考え る。 プレゼンテーションの準備をす る。	60
24	テーマ:思春期の健康支援 教育指導案を作成する。 (古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)	演習	予習・復習:テーマ・対象者に あった企画書・指導案を考え る。 プレゼンテーションの準備をす る。	60
25	テーマ:思春期の健康支援 教育指導を実施する。	演習	予習:プレゼンテーションの準 備をする。	60

	(古賀玉緒 前田幸 山田恵 他)		復習:学んだ点・気づいた点をまとめる。	
26	テーマ:受胎調節の諸問題 受胎調節に関する諸問題について学ぶ。 (古賀玉緒 他)	講義・演習	予習・復習:該当部分について学習を進める。	60
27	テーマ:受胎調節の諸問題 受胎調節に関する諸問題について学ぶ。 (古賀玉緒 他)	講義・演習	予習・復習:該当部分について学習を進める。	60
28	テーマ:受胎調節の諸問題 受胎調節に関する諸問題について学ぶ。 考査 (古賀玉緒 他)	演習	予習・復習:該当部分について学習を進める。	60
29	テーマ:特定された相談におけるアプローチ 妊相談・カウンセリングの実際など の構造や機能、チーム医療体制について学ぶ。 (外部講師)	不 施設 見学実習	不妊相談、遺伝相談などについて学習し、予習しておく。 復習:該当部分について学んだことをまとめる。(レポート)	60
30	テーマ:特定された相談におけるアプローチ 妊相談・カウンセリングの実際など 医療の実際(診療・ケア)を学ぶ。 (外部講師)	不 生殖 見学実習	不妊相談、遺伝相談などについて学習し、予習しておく。 復習:該当部分について学んだことをまとめる。(レポート)	60
理解に必要な予備知識や技能	これまでの講義内容を復習して、指導案作成に活かしてください。 また、施設見学予習として、見学実習における自己の課題を具体的に示し担当教員へ提出して下さい。			
テキスト	助産学講座3 基礎助産学[3] 母子の健康科学 医学書院 助産学講座5 助産診断・技術学 1 我部山キヨ子他編 医学書院 助産学講座6・7・8 助産診断・技術学 2 [1]妊娠期[2]分娩期・産褥期[3]新生児期・乳幼児期 我部山キヨ子他編 医学書院			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて資料を配布します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	個人ワーク、グループワークを活かし、学習を深めましょう。			
達成度評価に関するコメント	評価は、レポートの内容、演習技術、グループワークの参加状況、課題の実施状況などにより総合的に判断します。 ただし、課題やレポートの提出期限・講義演習時の態度は”その他”で評価します。			